



第28期

中間事業報告書

2007年1月21日～2007年7月20日

次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート&アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパの

文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然との共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art



心 Heart

五つのかたわりに
真心こめて、
心がなごむ庭づくり



風 Wind

それは木々や草花を
揺らし、季節を運び、
人と自然を包みます。



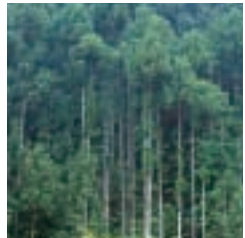
光 Bright

それは世界を彩り、
夢を織りなし、
人と自然を照らします。



水 Stream

それは生命を吹き込み、
季節を充たし、
人と自然を潤します。



緑 Green

それは大地に根ざし、
大地を被い、
人と自然を癒します。

株主の皆様へ



代表取締役社長

高岡 伸夫

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございます。このほど2007年1月21日から2007年7月20日までの「第28期中間事業報告書」がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

Q ガーデニング市場のトレンドと今後の展開についてお聞かせください。

A 環境再生産業として地域社会に貢献し、グローバルに展開してまいります。

46億年かかって作り上げられた地球が、産業革命以降のわずか200年で、急激な環境破壊が始まり、温暖化につながる二酸化炭素の排出、資源やエネルギーの浪費の結果、予想以上に早い速度で危機に向かっているのではと懸念されています。

その中でも注目されているのは、緑を中心とした造園や緑化、ビオトープといった、環境を再生できる産業です。その核に位置するのはガーデニングであり、タカショーはガーデニング専門会社として唯一、上場している企業であります。私どもは、社会的責任のある企業としての意識をもって、これからの経営に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

ガーデニング市場のトレンドとして急速に広がりを見せているのが「オープンガーデン」です。これはイギリス王室が中心となって一般家庭の庭を一定期間だけ、自分が作り育てた庭や花を名簿や紹介記事をつけて冊子にし、地元の小売店頭に配布して公開するという運動です。日本でも、イエローブックという紹介冊子を出し、ボランティアで日本各所に事務局ができています。個人情報保護が心配される折、自宅の住所を公開して庭にお招きする。見知らぬ人であっても、見知らぬ人だからこそ出合いを大切に。このような素晴らしい運動が世界中に広がっています。やさしさ、笑顔、コミュニケーション

など、花・庭を基本に、いい街づくりをしていく……。"住まいの庭"としての先進国であるイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国を眺めてみると、美しい街並みづくりへの社会的投資と、何より文化が進んでいるような気がします。聞いた話ですが、オーストラリアでも、一番投資したいのが庭で、家の価値を上げるのには庭の価値を上げる……。素晴らしい未来的志向でもあるし、中世以来、日本でもまさに同じであると思います。

それから、園芸療法です。園芸を通して、自分の健康を自ら守っていく。長く、元気に生きていく方法……。それは家庭菜園や花づくりです。土から得る命の力……。そして、植物と一緒に命の価値を共有しながら、命をいただき食する。皆が集まり、話題を共通する仲間が増えていく。とても素晴らしいテーマだと思えます。

これからもタカショーは、地球に生き、大地に生き、次世代の住環境を見据えて、皆様と一緒に世界をフィールドに駆け巡ってまいりたいと思います。社会に貢献し続けていくことが使命であると捉え、その企業理念が決して揺らぐことのないよう、社員一人ひとり、またグループ全体がしっかり理解し、株主の皆様と共有してまいります。そして人々に幸せをもたらせる、文化型で社会性の高い企業として邁進してまいります所存でございます。

今後ともますますのご指導、ご鞭撻をよろしく申し上げます。

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network

海外タカショーグループ

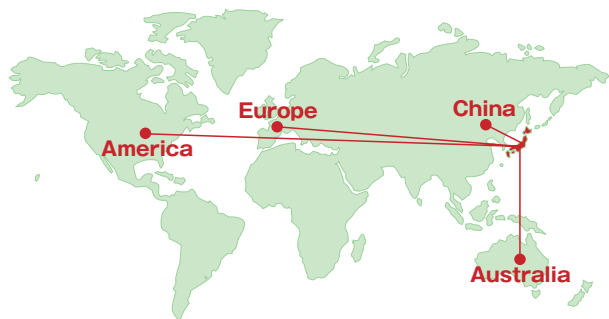
天津高秀国際工貿有限公司	広州オフィス
佛山市南方高秀花園製品有限公司	上海オフィス
広東高秀花園製品有限公司	華東オフィス
上海高秀園芸建材有限公司	台湾オフィス
濠州里高秀木業有限公司	シドニーオフィス
有限会社タカショー ヨーロッパ	
株式会社タカショー ノースアメリカ	
タカショー 코리아 有限会社	

海外販売

- アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ
- ドイツ ●フランス ●中国 ●台湾

海外提携

- アメリカ ●イギリス ●イタリア ●オランダ
- ドイツ ●オーストラリア ●台湾 ●スペイン

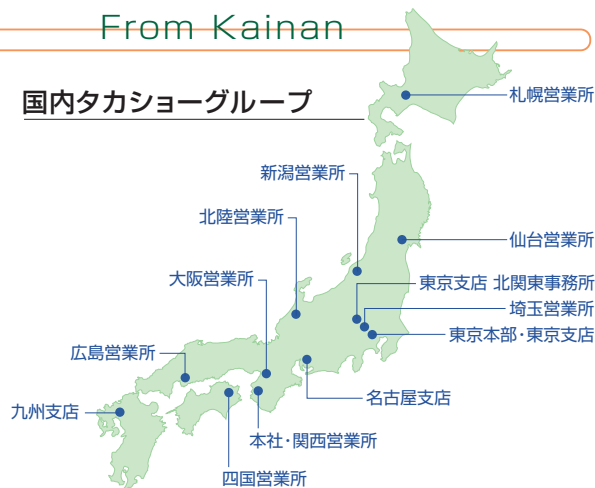


TAKASHO

本社には国内外からのマーケティング情報を集約すると共に、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグローバルネットワークを動かしています。

From Kainan

国内タカショーグループ



ガーデンプラン

株式会社青山ガーデン

- ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
- ガーデンの設計施工
- ガーデニングに関するセミナー及び教育
- ガーデン用品に関するオリジナル通販及びギフト販売

生産グループ

和歌山ガーデンクリエイティブ株式会社

- アルミ柱加工
- エバーバンブーフエンス製造
- 合成竹組立
- 別注商品製造及び輸入品二次加工
- 商品開発及び改良

徳島ガーデンクリエイティブ株式会社

- エバーバンブーボード真空成型及び組立
- ラティス・ラフィードフェンス加工及び組立
- 押出及び射出成型管理

奈良ガーデンクリエイティブ株式会社

- 天然竹製品加工及び材料管理
- 木製フェンス及び連杭などの塗装加工
- 輸入製品の品質管理

株式会社タカショーデジテック

- LED（発光ダイオード）照明機器の企画開発
- LED（発光ダイオード）サイン商品の企画開発
- ディスプレイサインの企画・設計・製造・販売・設備工事

デザインプラン

株式会社日本インテグレート

- デザインの開発 ●印刷物の企画、制作

Market

●環境への取り組み 地球環境や人へのやさしさを追求しています。



リサイクル
(繰り返し使える)
Recycle

リデュース
(長持ちする)
Reduce

リユース
(部分的に再利用)
Reuse

▶3つのRへのこだわり
環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

バイオガーデン
人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。



●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。



中央ロジスティックセンター

●情報サービス

新商品のお知らせ、エクステリア情報を発信しています。



ホームページ



Webカタログ



Web自動積算システム

<http://takasho.jp>

プロユース PROガーデンエクステリア分野

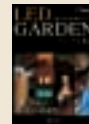
緑化などの公共事業、戸建て、商業施設、ハウスメーカー様の企画・設計デザイン、施工部門などプロのお客様をトータルサポートいたします。



総合カタログ



カテゴリカタログ



庭PRO

ホームユース ホームセンター・ガーデンセンター

DIYを基本とした庭づくりもお任せください。ホームユースブランドの「GADIS(ガディス)」はホームセンター向けの当社ブランドです。



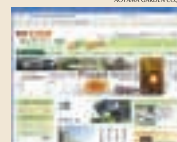
GADIS

e-コマース／通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマースはお陰様で、年々知名度を上げております。今後はさらに商品アイテム数を拡充させ、お客様のご要望にお応えしてまいります。



yahoo!



楽天

青山ガーデン
AOKI GARDEN CULTURE

■ タカショー新本社棟・タカショーデジテック新本社棟が完成

顧客ニーズにあった商品開発の強化とオフィス環境を整えた株式会社タカショー新本社が完成いたしました(10月9日より営業スタート)。LED(発光ダイオード)を使ったガーデンライトをはじめとする外構照明やサイン、表札などの商品を手がける株式会社タカショーデジテック(当社子会社)の新本社棟も隣接し、グループ全体として、今後さらにお客様への迅速な対応ができるよう組織づくりを進めております。なお旧日本社は、「第2商品センター」と名称を改め、中央口ジスティックセンターと並ぶ物流拠点兼倉庫として稼働いたします。

新本社 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL 073-482-4128(代表) FAX 073-486-2560(代表)



■ 連結業績予想と期末配当予想を上方修正

2008年1月期(2007年1月21日～2008年1月20日)における業績予想を上方修正いたしました。また、通期業績予想の修正に伴い期末配当予想につきましても、当社の配当性向20%の基本方針に基づき、1株当たり期末配当金を8円50銭から11円50銭に修正いたしました。

(1)中間期(2007年1月21日～2007年7月20日) (単位:百万円)

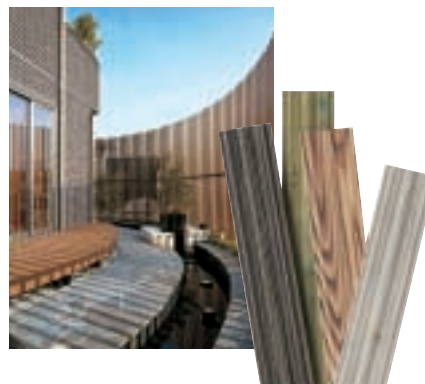
	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	7,603	395	227
今回修正予想(B)	7,764	574	403
増減額(B-A)	161	179	175
増減率(%)	2.1	45.4	77.5

(2)通期(2007年1月21日～2008年1月20日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	13,642	607	348
今回修正予想(B)	13,700	745	480
増減額(B-A)	57	139	132
増減率(%)	0.4	22.9	38.1

【主な要因】

- 各部門における商品戦略による売上拡大。
プロユース部門では、天然素材の表情を再現した人工木「エバーアートウッド」がガーデニングだけでなく建材としても使用され売上に貢献。ホームユース部門では、省エネを意識したソーラーライトやLED(発光ダイオード)ライト、ブランド戦略におけるキャラクター商品などが好調。
- ガーデニング需要期となる春の早い立ち上がりや猛暑となった夏など天候の影響によりシェード、オーニング、パラソル等の日除け商品が好調。
- 販売費および一般管理費削減計画の順調な推移。
- 役員退職慰労金制度の廃止を計画(役員退職慰労引当金を取り崩し、特別利益に役員退職慰労引当金戻入益を計上)。



■ 第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

商品開発ならびに新社屋の建設に係わるネットワークインフラの再構築および情報の共有化等、販売体制の強化を目的に第三者割当による40万株の新株式を発行いたしました。

割当先につきましては、今後の経営環境の変化に対応するため、当社の自己資本の充実および当社の経営基盤の向上ならびに関係強化を目的に取引金融機関に割当を実施いたしました。また、今後の商品開発の主力となるLED(発光ダイオード)を用いた屋外照明機器を製造する株式会社タカショーデジテック(当社子会社)の代表取締役である小林和夫への割当を実施することで子会社の事業責任者としてだけでなく、当社の株主として自覚を持ちグループ事業拡大のために貢献し、企業価値向上のために効果的であり、結果として多くの株主様の期待にお応えするものと考えております。

割当先および割当株式数

株式会社 紀陽銀行	100,000株
株式会社 三井住友銀行	100,000株
株式会社 京都銀行	100,000株
小林 和夫	100,000株
計	400,000株

発行済株式総数と資本金の額の推移

発行済株式総数 (2007年7月23日現在)	8,279,814株	資本金の額 (2007年7月23日現在)	463,960,704円
今回の増加株式数	400,000株	増加する資本金の額	106,600,000円
増加後の発行済株式総数	8,679,814株	増加後の資本金の額	570,560,704円

■ 「De-sign」(ディーサイン)シリーズに新商品を追加

株式会社タカショーデジテックと共同開発し、オリジナルデザインがオーダーできるサイン「De-sign」シリーズに、LEDでフラット発光する導光板とステンレス、真鍮、銅板のそれぞれを組み合わせた新しい光のサイン(表札)の発売を開始いたしました。

従来、表札灯を使用し表札を照らしていた門まわり・玄関まわりにおいて、表札本体が発光することにより新しい門まわり・玄関まわりのデザインが提案可能となります。当社のノウハウである「LEDを導光させることによるフラット発光」技術を応用した今までに無い新しい光のサインをご提案いたします。

また「株式会社青春ワークス」代表取締役を務めるプロダクトデザイナー武井泄月袴氏がデザインした「De-sign」シリーズ「SETSUKO TAKEI デザイン」も同時発売いたしました。



■ 札幌・新潟の2都市に営業所を開設

北海道地区ならびに新潟および関東エリア一部、東北エリア一部のお客様への迅速な対応と営業活動を強化することを目的に札幌営業所と新潟営業所を開設いたしました。

札幌営業所では、プロユース事業部ならびにホームユース事業部の一部を担当し、北海道エリアの取引先様へのサービス体制を強化いたします。また新潟営業所では、ホームユース事業部を担当いたします。一部、プロユース向け商品を展示するショールームを併設し、新潟エリアの取引先様への販売支援体制を強化いたします。

- ◆株式会社タカショー札幌営業所 住所 〒007-0848 北海道札幌市東区北四十八条東15丁目2番36号
TEL 011-748-3056 FAX 011-748-3066
- ◆株式会社タカショー新潟営業所 住所 〒955-0092 新潟県三条市須頃1丁目55
TEL 0256-36-5060 FAX 0256-36-5061

中間連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	第28期中間 2007年7月20日現在	第27期中間 2006年7月20日現在	第27期 2007年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	8,980	7,400	6,073
固定資産	2,887	2,481	2,560
有形固定資産	2,103	1,765	1,762
無形固定資産	125	126	131
投資その他の資産	658	589	666
資産合計	11,868	9,881	8,634
●負債の部			
流動負債	6,332	4,894	3,838
固定負債	1,725	1,531	1,366
負債合計	8,057	6,425	5,204
●純資産の部			
株主資本	3,736	3,389	3,359
資本金	463	463	463
資本剰余金	486	486	486
利益剰余金	2,817	2,470	2,440
自己株式	△ 31	△ 31	△ 31
評価・換算差額等	50	29	54
その他有価証券評価差額金	2	1	2
繰延ヘッジ損益	20	15	31
為替換算調整勘定	27	12	20
少数株主持分	23	36	16
純資産合計	3,810	3,456	3,429
負債および純資産合計	11,868	9,881	8,634

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科目	第28期中間 2007年1月21日から 2007年7月20日まで	第27期中間 2006年1月21日から 2006年7月20日まで	第27期 2006年1月21日から 2007年1月20日まで
売上高	7,800	6,946	12,420
売上原価	4,432	3,950	7,150
売上総利益	3,367	2,996	5,270
販売費および一般管理費	2,764	2,547	4,845
営業利益	603	448	424
営業外収益	36	18	62
営業外費用	66	53	72
経常利益	573	413	414
特別利益	151	13	12
特別損失	14	16	21
税金等調整前中間(当期)純利益	709	410	406
法人税、住民税および事業税	221	165	221
法人税等調整額	72	13	6
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△ 2	18	△ 5
中間(当期)純利益	418	213	183

連結キャッシュ・フロー計算書

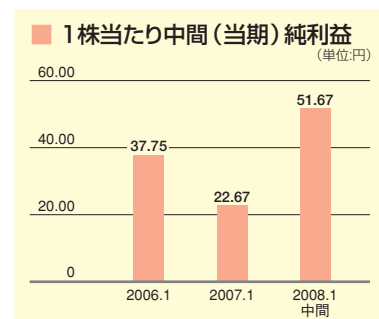
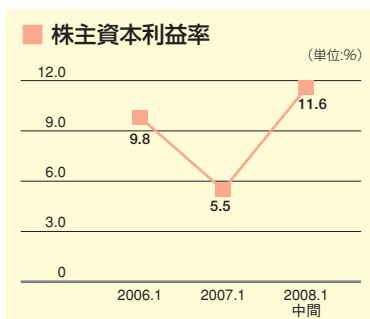
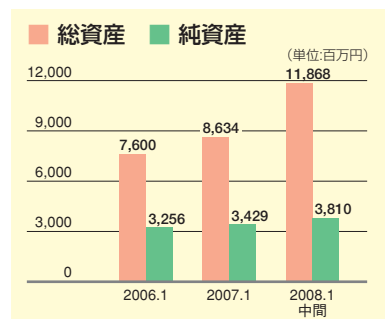
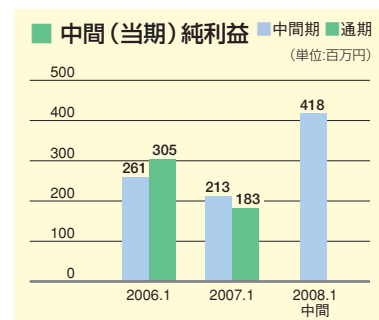
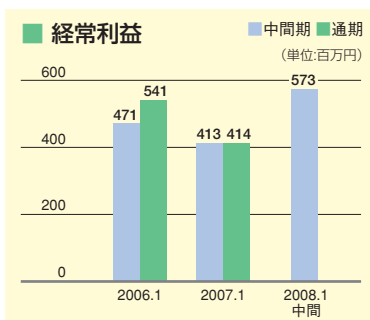
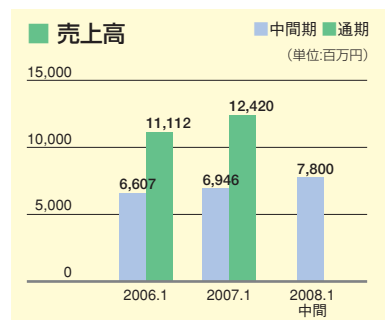
(単位: 百万円)

科目	第28期中間 2007年1月21日から 2007年7月20日まで	第27期中間 2006年1月21日から 2006年7月20日まで	第27期 2006年1月21日から 2007年1月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	△ 52	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	19	△ 487	△ 622
財務活動によるキャッシュ・フロー	802	768	501
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△ 0	4
現金及び現金同等物の増減額	832	228	△ 88
現金及び現金同等物の期首残高	946	1,035	1,035
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,778	1,263	946

連結株主資本等変動計算書 (2007年1月21日から2007年7月20日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年1月20日残高	463	486	2,440	△ 31	3,359	2	31	20	54	16	3,429
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当	-	-	△ 40	-	△ 40	-	-	-	-	-	△ 40
中間純利益	-	-	418	-	418	-	-	-	-	-	418
自己株式の取得	-	-	-	△ 0	△ 0	-	-	-	-	-	△ 0
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△ 0	△ 10	7	△ 3	6	3
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	377	△ 0	377	△ 0	△ 10	7	△ 3	6	380
2007年7月20日残高	463	486	2,817	△ 31	3,736	2	20	27	50	23	3,810



中間個別財務諸表(要約)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第28期中間	第27期中間	第27期
	2007年7月20日現在	2006年7月20日現在	2007年1月20日現在
●資産の部			
流動資産	7,063	6,051	4,657
固定資産	2,697	2,355	2,405
有形固定資産	1,545	1,256	1,222
無形固定資産	30	29	32
投資その他の資産	1,122	1,068	1,150
資産合計	9,761	8,406	7,063
●負債の部			
流動負債	5,446	4,600	3,377
固定負債	1,473	1,218	1,044
負債合計	6,919	5,818	4,422
●純資産の部			
株主資本	2,818	2,570	2,606
資本金	463	463	463
資本剰余金	486	486	486
利益剰余金	1,899	1,651	1,687
自己株式	△ 31	△ 31	△ 31
評価・換算差額等	23	17	34
その他有価証券評価差額金	2	1	2
繰延ヘッジ損益	20	15	31
純資産合計	2,841	2,587	2,640
負債および純資産合計	9,761	8,406	7,063

損益計算書

(単位:百万円)

科目	第28期中間	第27期中間	第27期
	2007年1月21日から 2007年7月20日まで	2006年1月21日から 2006年7月20日まで	2006年1月21日から 2007年1月20日まで
売上高	6,920	6,302	11,341
売上原価	4,294	3,921	6,968
売上総利益	2,626	2,381	4,373
販売費および一般管理費	2,308	2,154	4,074
営業利益	317	226	299
営業外収益	48	36	73
営業外費用	51	47	61
経常利益	314	215	312
特別利益	142	0	0
特別損失	11	16	21
税引前中間(当期)純利益	446	199	291
法人税、住民税および事業税	140	75	122
法人税等調整額	52	8	17
中間(当期)純利益	252	115	151

株主資本等変動計算書 (2007年1月21日から2007年7月20日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金 合計	
2007年1月20日残高	463	486	486	12	650	1,025	1,687	△ 31	2,606	2	31	34	2,640
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△ 40	△ 40	-	△ 40	-	-	-	△ 40
中間純利益	-	-	-	-	-	252	252	-	252	-	-	-	252
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	△ 0	△ 0	-	-	-	△ 0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 0	△ 10	△ 10	△ 10
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	-	212	212	△ 0	212	△ 0	△ 10	△ 10	201
2007年7月20日残高	463	486	486	12	650	1,237	1,899	△ 31	2,818	2	20	23	2,841

会社の概要／株式の状況 (2007年7月20日現在)

会社の概要

商号 株式会社タカショー
TAKASHO CO.,LTD.
本社 和歌山県海南市阪井489番地
設立 昭和55年8月
資本金 463,960,704円
従業員 251名 (116名)
※注 () は臨時雇用者数であります。

主要な事業内容

- ◆ ガーデニングフェンス
(人工竹木フェンス関連商品・天然竹木フェンス関連商品)
- ◆ 庭園資材(緑化資材・ガーデンファニチャー・人工植物関連商品)
- ◆ 照明機器(ガーデンライト商品)
- ◆ 池・滝・噴水
- ◆ その他(坪庭・プライベートブランド商品等)

主要な事業所

本社	和歌山県海南市	華東事務所	中国 浙江省
東京支店	東京都千代田区	上海事務所	中国 上海市
名古屋支店	愛知県東海市	広州事務所	中国 広州市
九州支店	福岡県筑後市	台湾事務所	台湾 高雄市
札幌営業所	北海道札幌市	オーストラリア	オーストラリア
仙台営業所	宮城県仙台市	事務所	シドニー
東京支店北関東事務所	群馬県伊勢崎市		
埼玉営業所	埼玉県坂戸市		
新潟営業所	新潟県三条市		
北陸営業所	石川県金沢市		
大阪営業所	大阪府大阪市		
関西営業所	和歌山県海南市		
広島営業所	広島県東広島市		
四国営業所	徳島県吉野川市		

役員

代表取締役社長	高岡 伸 夫	取締役	岡室 宏 之
常務取締役	平松 昇	取締役(社外)	山田 拓 幸
取締役	高岡 淳 子	監査役(常勤)	増川 昭 夫
取締役	丸山野 行 信	監査役(社外)	足立 昌 彦
取締役	寒川 浩	監査役(社外)	宮尾 文 也

株式の状況

発行可能株式総数 …………… 26,000,000株
発行済株式の総数 …………… 8,279,814株
当中間期末株主数 …………… 4,517名

大株主 (上位10名)

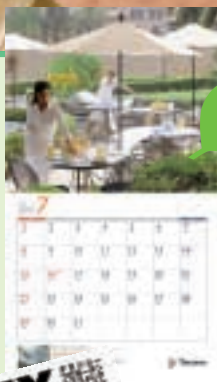
株主名	持株数
高岡伸夫	2,938 千株
タカショー社員持株会	349
ピーエスピーパセキユルティーズサービスジャストックフランス	245
岡室宏之	203
株式会社三菱東京UFJ銀行	194
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	180
高岡マサエ	176
小倉貿易株式会社	160
竹田和平	160
新神戸電機株式会社	158

※注 当社は自己株式188,324株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度 1月21日から翌年1月20日まで
決算期 1月20日
配当金 1月20日現在の株主、中間配当実施の時は7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。
定時株主総会 4月
公告方法 電子公告にて行います。ただし、電子公告による
ことができない事故その他やむを得ない事由が生
じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417
(その他のご照会) 0120-176-417
(インターネット) <http://www.sumitomotruster.co.jp/STA/retail/>
ホームページURL [service/daiko/index.html](http://www.sumitomotruster.co.jp/service/daiko/index.html)
同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店



特典
1

タカショーオリジナルカレンダー
プレゼント

ガーデニング
に関する
お役立ち情報を
お届けします。

特典
4

タカショー庭通信
プレゼント



特典
3

自社カタログ掲載商品を
割引販売



特典
2

ご所有株数1,000株以上で
自社商品プレゼント

特典
5

ご所有株数100株以上
1,000株未満で種苗プレゼント

特典
6

年に一度タカショーイベントにご招待!
● 但し、交通費は実費となりますので、ご了承ください。

 Takasho

株主優待のお知らせ

当社は株主優待制度として、庭のお好きな方や、これから庭を楽しみたい方にさらにご満足いただける「タカショーガーデン友の会」を発足いたしました。目的は、当社を通じ豊かな時代を創るオーナーとして、21世紀の環境づくりに参加していただき、なお且つガーデニング人口を増やしていこうという考えも入っております。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(注) 特典2、5、6については、毎年1月20日の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様のみとなります。

やすらぎのある空間づくり

株式会社タカショー

新本社 和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017

TEL 073-482-4128 (代表) FAX 073-486-2560 (代表) ホームページ <http://takasho.jp>

 R100
古紙配合率100%再生紙

 PRINTED WITH
SOYINK™